UT ユーザーつうしん
〒584-0078
大阪府富田林市加太 2-7-7
TEL/FAX:072-368-3135
E-mail user@ut-net.jp　http://ut-net.jp
令和4年12月19日発行(第248号) 毎月5日発行 (特別号)
年間購読料 6,000円 発行所 株式会社ユーザー通信社 発行人 植村和人

MEASUREMENT PRIDE
精密測定機器 UNO 宇野株式會社
URL http://www.uno.co.jp/

大機器協 企業見学会実施

大規模リニューアルしたダイフク『日に新た館』

滋賀・日野町

先進のマテハン技術を体験・体感

「将来の拡張に備える」「人のいない物流センター」

自社で開発・生産した最新のマテハンシステム・機器 29機種を含む計 57 機種を展示。総勢 91 名が見学に臨んだ。

※写真提供(2点)・ダイフク

大阪機械器具卸商協同組合(大機器協/中山哲也理事長=トラスコ中山社長)は10月25日、マテリアルハンドリング(マテハン)システムの世界トップメーカー、ダイフク(本社=大阪市西淀川区)の『日に新た館』(ひにあらたかん/滋賀県蒲生郡日野町)にて企業見学会を実施した。

大機器協の同活動は、昨年は当時の新型コロナ感染拡大状況をふまえ動画配信視聴で工場見学(MSTコーポレーション)を実施したが、今年は総勢91名がバス5台に分乗し現地に赴きリアル開催した。施設見学後はJR近江八幡駅前のホテルニューオウミに移動しての懇親会を開き、会員間の親睦を深めた。

『日に新た館』はダイフク滋賀事業所内に常設する世界最大級のマテハン・ロジスティクスの体験型総合展示場で、1994年の開設以降、これまで世界約90の国と地域から延べ約50万人以上が来館している。

コロナ禍により2020年3月以降は一般見学を中止していたが、この期間を利用し、昨今、AIやロボットなど急速な技術革新が進むなか、自社で開発・生産した最新のマテハンシステム・機器29機種を含む計57機種を展示する大規模リニューアルを実施、約2年をかけ、今年6月1日にグランドオープンした。

なお、滋賀事業所の敷地面積は約120万m^2・36万坪で、東京ドーム約26個分に相当する。敷地内には、日に新た館を含めて14棟の開発・生産工場などがあり、従業員は社員・パートナー含め約3千名で、一般製造業、流通業から自動車、半導体など幅広い業界の要望に応える生産体制を整えている。

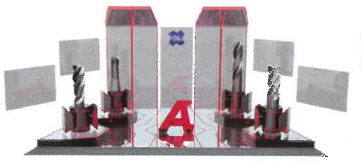
見学に先立ったあいさつ、説明の中では、ダイフクの鳥谷則仁執行役員(イントラロジスティクス事業部営業本部長)の案内により、下代博社長がビデオメッセージで登場。滋賀事業所操業当時の経営陣の思いを、「日本には将来、マテハン技術を必要とする究極の人手不足の時代がやってくる。この広大な自然に恵まれた環境で、人間性豊かな生産性の高い夢のある工場をつくろうというインダストリアルパーク構想のもと、1975年に操業開始した」とふれた。

2面に続く

ブラシの110番 (商標登録 第5141661号)
お問い合わせ
TEL 0120-689-110(代)
受付時間:あさ9時~よる6時　定休日:毎週土・日・祝日
カタログ請求はFAXで(年中無休24時間)
FAX 0120-785-150(代)
http://www.brush 110.com
E-mail:nsk@brush 110.com
株式会社 鳴門屋 NSK UZUSHIO
〒577-8533 東大阪市柏田本町10番11号
電話(06)6728-0110(代) FAX(06)6727-5150(代)
全国の有名工具店でお求めいただけます。

お客様の満足と生産性向上を目指し最適な商品サービスをご提案します。
代理店・特約店
京セラ　MOLDINO　イスカル　オーエスジー　住友電気工業　不二越　サンドビック　日研工作所　三菱マテリアル　彌満和製作所　テグテック　ダイジェット　株洲工具　ワルター
TKD 株式会社 タケダキカイ
京都営業所 ☎075-661-1811 FAX.075-661-1824
彦根営業所 ☎0749-26-1801 FAX.0749-26-1803
枚方営業所 ☎072-849-1888 FAX.072-849-1808
栗東営業所 ☎077-552-7361 FAX.077-552-7371
岐阜営業所 ☎0584-77-5347 FAX.0584-77-5348
三重営業所 ☎0595-26-2730 FAX.0595-26-2731
尼崎営業所 ☎06-4950-0416 FAX.06-4950-0417
北陸営業所 ☎0761-24-0991 FAX.0761-24-0992

A The A Brand
The Tooling Master Class


オーエスジー株式会社
OSG WEB SHOWROOM | https://www.osg.co.jp/showroom/

『ストライクドリル』シリーズ ラインナップ拡張

ダイジェット工業

ダイジェット工業(本社=大阪市平野区、生悦住歩社長)は、好評を得ている超硬コーティングドリル『ストライクドリル』(EZN形)に、EZN8D形(8Dタイプ、クーラント穴付き)およびロールタップ下穴用(EZT形)を追加し、販売を開始した。

8Dタイプ

長寿命、高能率、高精度な穴あけ加工が実現できるストライクドリルに加工深さL/Dが8Dの深い穴加工が可能なEZN8D形(クーラント穴付き、有効加工深さ8×Dc)をラインナップし、シリーズを充実させて幅広い加工の対応を可能とした。主な特長は次の通り。

①求心性と切削抵抗低減を可能とした新シンニング形状の開発により、工作物への食い付き時から加工穴底部まで安定した切りくずが排出され、正確な位置に、拡大代の少ない高精度な穴あけ加工を可能とした。

②ダブルマージン形状とし、心厚の剛性を持たせることにより、深い穴加工においても切削抵抗の変動が少なく、精度の高い穴加工を可能とした。

③耐溶着性、低摩擦係数に優れた平滑処理技術で、切りくずの溶着や切りくず排出性を向上させ、バリや切りくず詰まりによる折損を抑制できる。

④微粒子系超硬合金と耐熱性・耐酸化性に優れた独自のコーティング被膜「バリューコート」を採用、一般鋼からプリハードン鋼、ステンレス鋼などの難削材まで幅広い被削材に対応し、高速加工で高精度・長寿命が実現できる。

主用途は、炭素鋼、合金鋼、プリハードン鋼、ねずみ鋳鉄、ダクタイル鋳鉄、ステンレス鋼等の穴あけ加工用。サイズは、Φ3~Φ14(111形番)。

ロールタップ下穴用

高精度な下穴管理が重要なロールタップ下穴用として高能率、高精度な穴あけ加工が実現できるロールタップ下穴用ストライクドリルEZT3D形(3Dタイプ、有効加工深さ3×Dc)、EZT4D形(クーラント穴付き、4Dタイプ、有効加工深さ4×Dc)を新規ラインナップし、一般鋼やステンレス鋼などの対応を可能とした。主な特長は次の通り。

①優れた求心性と切削抵抗低減を可能とした新シンニング形状の開発により、工作物への食いつき時から加工穴底部まで安定した切りくずが排出され、正確な位置に、拡大代の少ない高精度な穴あけ加工が可能。

②外径は0~マイナス0.01㎜と高精度、外周ダブルマージン形状により穴精度を向上させ、下穴管理が重要なロールタップ下穴用として、狙い通りの高精度な穴あけ加工が可能。

③耐溶着性、低摩擦係数に優れた平滑処理技術で、切りくずの溶着や切りくず排出性を向上させ、バリや切りくず詰まりによる折損を抑制できる。

④微粒子系超硬合金と耐熱性・耐酸化性に優れた独自のコーティング被膜バリューコートを採用、一般鋼からプリハードン鋼、ステンレス鋼などの難削材まで幅広い被削材に対応し、高能率、高精度な穴あけ加工で長寿命を実現できる。

主用途は、ステンレス鋼、炭素鋼、合金鋼、プリハードン鋼等の穴あけ加工用。サイズは、EZT3D形=Φ2・78~Φ5・55(12形番)、EZT4D形=Φ3・68~Φ5・55(9形番)。

研削加工の専門展 『GTJ2023』開催へ

23年3月8日(水)~10日(金)/幕張メッセ

出展者説明会実施 講演では「JIMTOFで印象に残った技術」に言及

▲前回2021年展はコロナ禍による緊急事態宣言下ながら、政府による開催要件を満たし開幕、来場者数は1695人だった

▲今回の出展社説明会では岡山大学大学院・大橋教授による講演を聴講

来年3月に迫った『Grinding Technology Japan 2023』(GTJ2023)【主催=日本工業出版、産経新聞社】の開幕に向けた出展社説明会が、12月6日に東京・大手町のサンケイプラザで行われた。

GTJ2023は、2023年3月8日(水)~10日(金)の3日間、千葉市・幕張メッセ(ホール8)にて開催、工具製造技術と研削加工技術の専門展示会として2019年にスタートしたGTJは3回目を迎える。

今回も各種研削加工技術、工具製造技術を支える工作機械、砥石、計測、周辺機器が多数出展(※93社、12月6日現在、共同出展は1社とカウント)され、特別協賛団体として切削フォーラム21が参加し、会場内で切削工具の加工実演を行う。

また、特別協力団体として砥粒加工学会が参加し、「2023年度 先進テクノフェア」(ATF2023)を開く。ATFは産業界と学術界をつなぐイベントとして毎年開催されており、同学会をさらに身近なものに感じてもらうために、今回はGTJ2023の会場内で併催することとなった(講演会は有料)。

そのほか、専門技術者によるパネルディスカッション、各種講演、研削コンシェルジュ(5名常駐)も実施されるなど、専門家が集う会場で、最新技術の情報収集と意見交換が期待される。

なお、出展社説明会では岡山大学大学院自然科学研究科産業創生工学専攻の大橋一仁教授が「研削加工技術のこれからを考える」と題し講演した。

その概要は概ね、精密機械部品、半導体、光学部品など幅広い分野の製造工程に利用される研削加工は、高精度・高能率なものづくりには欠かせない機械加工法のひとつであり、現在の研削加工技術は、研削砥石、研削盤およびその周辺要素や計測器などの技術革新がこれまで積み重ねられてきた結果であることをふまえ、研削加工に関するこれまでの技術的革新の流れを鑑みつつ、研削加工技術の現状を解説するとともに、研削現象や研削プロセスの観点から、これからの研削加工技術を展望する内容だった。

その中では、11月に開催されたJIMTOF2022をみて印象に残った点を、「加工形状・寸法の見える化技術」だったとし、加工形状・寸法の機上計測、加工技術の特定による補正加工、指定部分の拡大観察にふれながら、「ワークのデジタル画像を撮影→輪郭形状を数値データに変換」への言及や、「砥石表面の見える化技術」の問題点を「観察に時間がかかる」など6つ列挙した。

加えて、研削加工における課題として、「研削メカニズムのさらなる解明」(研削現象の見える化)、「加工状態の検知技術」、「加工仕上り状態の予見技術」(仕上り寸法・経常/仕上面の表面特性=表面粗さ、残留応力など)、「抜取り検査評価の全数検査化技術」(インライン評価)、「破壊検査の非破壊化技術と機上実施」(研削焼け、硬度、表面機能など)を挙げ、まとめとした。

23年2月24日 研究会開催 「AIを用いた工作機械への加工ノウハウ導入技術」

砥粒加工学会

砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会は、第107回研究会として、「AIを用いた工作機械への加工ノウハウ導入技術~熟練工技術のデジタル化と省人化によるものづくりを目指して~」と題し、23年2月24日(金)13時~16時50分に実施する(17時15分~技術交流会予定)。

開催方式は、東京・TKP神田駅前ビジネスセンターでの対面、またはオンライン(Cisco Webex Meeting)によるハイブリッド形式。

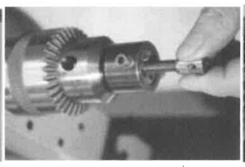
加工現場では熟練工のノウハウを伝承することが近年の課題であったが、今や熟練工自体が少なくなり、伝承すらままならないのが現状である。一方、近年では機械学習を用いたAI技術により、見た目や感覚によるものや数値化できなかったものをパターン化により分類できるようになってきた。この技術を用いることで、熟練工が永年積み重ねてきた経験をデジタル化できる。そしてこれを工作機械に実装することで、誰でも熟練工のように加工できるようになることが期待される。そこでAIを用いてどの程度工作機械に実装できるかを検討する講演全4本を企画した。申込締切日は23年2月16日(木)。FAX=048-829-7046/E-mail=sf-office@mech.saitama-u.ac.jp

手動回転工具 さらえ丸

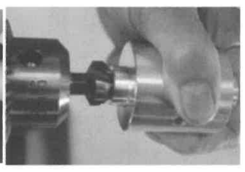
サラエ丸は小物部品の機械加工後の仕上げに便利な装置

＊手作業でも、たくさんの仕事ができる！
＊ハンドルを回せば、ローテクの最先端！
＊省エネ・エコ・安全！

1、タップさらえ



2、ダイスさらえ

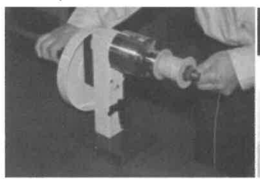


3、内径面取り加工

4、リーマ通し

5、外径面取り加工

6、より線に使う



7、線や糸を巻く

8、磨き作業

もっとある！ 色々な使い方

一台八役+α

〒594-0052大阪府和泉市阪本町48-1
メイコーマシン株式会社
TEL：0725-46-2862
FAX：0725-46-2863
メイコーマシンさらえ丸で検索